



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所
 会長：大岩一仁 幹事：夏目雅康 SAA：大島嗣雄 会報委員長：太田 稔
 事務局：豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度第 5 回 通算 1076 回 平成 20 年 7 月 29 日 (火) 晴

ゲスト 国府高校生徒 5 名 教諭 1 名 小坂井高校生徒 4 名 教諭 1 名
 豊川工業高校生徒 4 名 教諭 1 名 宝陵高校生徒 3 名 教諭 1 名
 御津高校生徒 2 名 教諭 1 名
 ビジター (なし)
 出席報告 川渕啓治委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	7/15 修正出席率
54 名	43+7 名	34 名	68%	84.8%

司会進行 大島嗣雄 SAA

★会長の挨拶及び報告 大岩一仁会長



こんにちは。毎日暑い日が続いております。体調など崩されたりしていませんか。気をつけて頂きたいと思

います。

私の大好きな高校野球の愛知県代表が決まりました。先週 25 日金曜日に、まず東愛知決勝が行われまして、春のセンバツに引き続いて成章高校が出るかと思っておりましたが、大府高校に決まりました。26 日土曜日には西愛知決勝が行われ名門の東邦高校に決まりました。東邦と愛知啓成の試合は、ワンサイドのゲームになるかを見ていました。私がテレビを見たときは 9 対 0 だったと思います。6 回裏の愛知啓成の攻撃は高校生のすごいパワーが出て、一気に 8 点の猛攻で本当に感動しました。今週土曜日からは甲子園が始まります。愛知から 2 校出場しています。愛知県の高校生が頑張っている姿を応援したいと思います。頑張っているといえば、今日、ここに来ら

れている高校生の皆さんは、ボランティア活動で頑張っている皆さんです。夏休みに入り学校の行事で忙しい中を来て頂きました。付き添いの先生方、本日はお忙しい中ありがとうございます。後ほど、各学校の活動の発表があるということで、大変楽しみにしております。よろしくお祈りします。

それから、親睦委員会主催の納涼例会ですが、ホームパーティーのような懇親会は、豊川宝飯クラブ始まって以来のことではないかと思えます。天気になって綺麗な夕日が見えることを期待したいです。高桑委員長はじめ、親睦委員の皆さん宜しくお願いします。

★幹事報告 夏目雅康幹事

例会臨時変更のお知らせ

奥三河・豊橋北・田原・豊橋ゴールデン
次回例会について

★委員会報告

親睦委員会(高桑委員長)

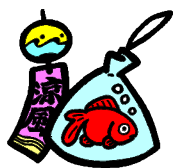
納涼例会の大塚駅からの送迎について
 納涼例会の服装について
 ゴルフ同好会(加山幹事長)

10 月の合同コンペ開催について

★ニコニコボックス

◎その他

柴田浩志会員 本日の例会を担当します
笠原盛泰会員 いろいろ祝って頂き



★新世代委員会担当例会

高校生のボランティア活動報告

○委員長あいさつ

柴田浩志委員長



こんにちは。本日は新世代委員会の担当例会です。高校生の皆さん、先生方、お忙しい中をご出席頂きまして

誠にありがとうございました。この新世代委員会が担当しておりますボランティア連絡協議会の「ボラン・コラボ穂の国 7」について少しご説明をさせていただきます。2年前の浅野会長の年度に豊橋ゴールデンRCからお話を頂きまして、準備を進めて、山本会長の年度に設立をして、前年度は2回の担当例会と交流会を開催しました。今回が3回目の例会と交流会になります。この会の趣旨は、高校生の皆さんがそれぞれにされている活動を、一堂に会して、皆さんで情報を共有しながらより一層の活動が高まるようにしたい。またロータリーとしては、活動を例会の場で発表して頂き、活動を知って、精神的にも物質的にもできる範囲で応援をしていきたい。というのが趣旨です。本日は6高校のうち、豊川高校さんが学校行事等が重なり欠席をされていますが、頑張っている高校生の皆さんのお話を聞いて、地域社会への理解と協力の啓蒙活動を我々もして参りたいと思います。そういった意味でも、よく活動報告を聞いて頂きたいと思います。また、この例会後に交流会も行ないます。よろしくお願ひします。

○国府高校の発表



私たちの学校は、前期でゆうあいの里ボランティアを行ないました。有志の生徒約30名で行ないました。草取りやゴミ拾い

など、暑い中みんな頑張ってくれました。後期では、通学路のゴミ拾いなどを行い、国府の市でのボランティア活動は、お手伝いを依頼されたら行なう予定です。去年はスタンプラリーのお手伝いをしました。今年はまだ決まっています。今後もボランティア活動を積極的に行なっていききたいと思います。

○小坂井高校の発表



平成20年度のボランティア活動計画について報告します。我が校では、本年度より生徒会でボランティア活動の担当を決

め、積極的にボランティア活動に参加していくことになりました。ボランティア活動の呼びかけとしてポスターや生徒会だよりなどで生徒たちへの呼びかけを行います。ボランティア活動の一つとして、6月1日に行われた豊橋動植物園の善意フェスティバルに、5名が参加しました。福祉施設や福祉団体の方々と一緒に模擬店やゲームコーナー、野外ステージなどの見学をしました。また夏休みには、豊橋善意銀行主催のボランティア活動に参加する予定です。2学期は、期末テスト最終日に、生徒会活動の一環として校内、通学路、学校周辺の清掃活動を行います。本校では、これをクリーン大作戦と呼び、昨年度は全校生徒の半数以上が参加をしてくれました。3学期は、1、2年生の希望者の生徒が小坂井町の桃里保育園に訪問し、園児と一緒に遊んだりおやつを食べたりと1~2時間程度、幼児活動・幼児教育を見学・体験する活動を行ないます。他にもボランティア活動の依頼があれば募集を行なって参加していきたいと思っています。

○豊川工業高校の発表



豊川工業高校のボランティア活動は、ボランティア同好会が部活動として行っています。今日は、子どもものづくり教室と

いう、ボランティア同好会が発足した時から行なっている活動について報告します。子どもものづくり教室は、毎月第3土曜日に、赤塚山ぎょぎょランド2階で、小学4年生からの子供達が多様な作品を独自で作る教室です。僕たちは、そのものづくり教室で講師として参加しています。今年度に入り、ものづくり教室の司会進行もやらせて頂くことになりました。司会進行としては、挨拶、ものを作る時の注意、講師の方々の紹介、終わりの言葉などを担当させて頂きました。子供達が多様な作品を独自で作る教室です。僕たちは、そのものづくり教室で講師として参加しています。今年度に入り、ものづくり教室の司会進行もやらせて頂くことになりました。司会進行としては、挨拶、ものを作る時の注意、講師の方々の紹介、終わりの言葉などを担当させて頂きました。子供達が多様な作品を独自で作る教室です。僕たちは、そのものづくり教室で講師として参加しています。今年度に入り、ものづくり教室の司会進行もやらせて頂くことになりました。司会進行としては、挨拶、ものを作る時の注意、講師の方々の紹介、終わりの言葉などを担当させて頂きました。

これからの予定としては、この夏休み中にいろいろな施設に訪問したいと思っています。豊橋に新しくできた子ども未来館にも行きたいと思っています。それから、24時間テレビで募金活動をしようと計画をしています。その8月30日に豊川市体育館前で、ペットボトルを利用したキャンドルライト 1000本ぐらいを使って誓という文字を作ろうと計画をしています。もしも参加して頂ける方がありましたら、顧問の白井先生までお願いします。

○宝陵高校の発表



本年度の活動計画について発表します。私たちボランティア部は、3年生9人、1年生15人の部員です。今

まで部員はすべて女子でしたが、今年は男子が3人入部しました。4月26日に豊橋駅前であしなが育英会の募金活動を行ないました。この活動には10名が参加しました。1年生の部員の中には募金活動の経験者もあり、大きな声で協力を呼びかけました。5月、6月には学校の近くにある愛知県身体障害者総合施設希全センターで行われる七夕の準備をしました。飾り付けを作ったり、影絵の練習をしました。この影絵は今回初めて取り組んだもので、そのために必要な器具の購入には、昨年度ロータリークラブから頂いた活動支援金を使わせて頂きました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。7月2日に希全センターで七夕交流会を行いました。入所者の方々と楽しく交流の場を持つことができました。一人一人の願い事を短冊に書き込み、飾り付けをしました。初めて実施した影絵は、とても喜ばれたので、来年以降も実施したいと思っています。夏休みには、3箇所の学童保育の支援に行きます。新城市東郷東小学校のひだまりの家、豊川市一宮東部小学校のぼかぼかクラブ、そして一宮児童館です。学童保育支援は3週間行なわれ、2~3人ずつのグループを作って交代で参加します。幼い子ども達と接する時は、安全、健康など色んな注意しなければならぬことがあります。可愛らしい笑顔を見ると私たちも和やかな気持ちになれて楽しく過ごすことができます。また保育に直接携わることは、自分自身にとって本当に勉強になります。こういう時、ボランティア活動は、ただ人の為だけでなく、自分の為にもなることを強く感じます。この学童保育支援は、冬休みと春休みにも行ないます。8月下旬には、希全センターで風船バレーの講習会を行ないます。

2学期の活動予定は、9月1日に文部科学省所管の社会教育団体のSYD (Supporting Your Dreams (財)修養団)による講演を実施します。部員及び希望者を対象として東南アジアの発展途上国におけるストリートチルドレンの現状についてのお話を聞く予定です。そして、今の自分たちに何ができるのかを考えたいと思います。10月の文化祭、12月の体験発表会では、日頃の活動を報告し、同時にボランティア活動についての関心を高めてもらえるような企画を実施したいと思います。また、10月には希全センターで3回目の交流会を行い、入所者の方々とゲームをする予定

です。今後もささやかでも地域に貢献できるような、そして同時に世界にも目を向けるような活動を続けていきたいと思ひます。

現代社会の授業で地域環境問題について勉強した時に習った「地球規模で考え、地域で行動を Think globally, Act locally」という言葉を、私たちの日頃のボランティア活動にも生かしていきたいと思ひています。最後に、私たちの活動について、お互いに報告しあい、ボランティア活動について視野を広げていくことができるような会を今年も開いて頂き、心から感謝しています。後で行われる交流会もとても期待しています。

○御津高校の発表



御津高校は、豊川市や蒲郡市など近隣の地域でのふれあいの活動を重視しています。平成20年度社会奉仕活動年間計画を報告

します。生徒会やボランティア部だけでなく、全校生徒からボランティアを募って行なっています。1学期の活動は、くすのき授産所で行なわれた「くすくすフェスティバル」、豊橋動植物園で行なわれた「善意フェスティバル」に参加しました。校内ではボランティアの広報活動、手話講習会、ボランティア部によるペーパーフラワーの製作が行なわれています。生徒会活動としては、校内の空き缶拾いを行なっています。4月には海外救援衣料品収集活動として、平成19年度卒業生の不要になった体操服を外国に寄付するために、ダンボールに詰める作業を行いました。6月には、中国四川省大地震の被災者へ送るための募金活動を行ないました。生徒会執行部と各クラブの代議員が全校生徒・教職員に協力の呼び掛けをしました。集まったお金は、豊橋善意銀行に寄託しました。夏休みは、多文化共生授業・外国人児童サポート授業におけるボランティアスタッフの学習支援とレクレーション支援、愛知県立豊橋豊学校母の会主催のふれあいフェスティバル、蒲郡市手をつなぐ育成会主催のサマースクール、特別老人ホーム一晃主催の夏祭りの模擬店手伝いなどに参加させて頂きます。夏休みのボランティ

アに参加する人数は94名です。9月以降の活動は、ボランティア広報活動、年末善意募金、平成20年度の卒業生を対象とした海外救援衣料品収集活動を行なっていきたいと思ひます。

それぞれの高校の活動を聴くことができ、とても参考になりました。これからも年間の活動を通して、ボランティアに意欲的に取組み、ボランティアの発展に努めたいと思ひています。ありがとうございました。

~~~~~交流会レポート~~~~~

例会終了後に交流会が開催されました。テーマに沿った様々な意見が出て、大変良い交流会になりました。次回は3月の春休みに予定をしています。



テーマ

「ひとりで身近にできるボランティアは？」
～登下校中に、休日に、～

登下校中できること

- 空き缶やゴミ拾い
- 電車内で高齢者や妊婦に席を譲る
- 高齢者の話し相手や挨拶をする
- 駅の階段で大きな荷物を持っていたら一緒に運ぶ
- 横断歩道で高齢者の手助けをする
- エレベーターのボタンを押す

休日にできること

- コンビニなどでのお釣りを募金する
- 地域のボランティア活動に参加する
- 高齢者や近所の人との交流
- 資源回収の協力
- ラジオ体操への参加
- 地域のお祭りに参加して交流を深める
- お祭りなどのゴミ拾いを積極的に行なう
- 地域のお年寄りの話し相手になる
- 老人ホームのお手伝いに行く

先生方に一言ずつ感想を頂きました

国府高校の近藤先生

こんにちは。今日感じたことは、生徒会活動やボランティア活動を含めて、一生懸命やってくれるので、どうやったら、この子達の活動を多くの人たちに理解してもらえるのかと感じました。今日の発表もこのような会場で行なっているので、口頭だけでなく、文面などで発表し、各学校の生徒がもっと集まって発表すると競い合えて、活動が活発になるのかなと思いました。この機会が次に発展していくと良いと思いました。



小坂井高校の松井先生

今日は皆さんご苦勞様です。今年から、生徒会の役員2名が中心となって活動しています。高校生は3年間しかないので、単発的でなく、継続性を持って続けていければと思います。では、どうしたらと考えていくと本校の場合は生徒会が中心となってきます。本日配布された豊橋地区の冊子を見ると、豊橋地区はかなり活発に活動されています。まだまだ各高校間の交流もこれからだと思いますし、交流を通して色々学びながらできたら、最終的にこのような冊子にまとめられるような活動になれば良いかと思いました。いずれは大きな形として豊川宝飯地区でまとめて出来ればと思いました。



豊川工業高校の白井先生

こんにちは。今、部員達が挑戦しているのが、24時間テレビのイベントです。誓という文字を書きたいと思っています。この報告は、次回の3月に発表させて頂きたいと思っています。もしご協力頂ける方がありましたら、よろしくをお願いします。



御津高校の榎山先生

こんにちは。社会福祉活動を年度末に提案をし、それを継続しています。生徒の皆さんも良くやってくれています。皆さんのご意見を聞いていまして、何が良いのかと思いながら考えています。本日参加させてもらった生徒は生徒会の役員で、本当に一生懸命にやってくれています。保護者向けの通信を生徒会が作りまして、ボランティア活動の感想を載せて、生徒や保護者にボランティア活動を行なっていることがPRできればと思います。校内にパネル写真で広報活動をしています。目立たない活動ですが、ボランティア活動は素晴らしいと思います。



宝陵高校の横山先生

毎回この会に出席をさせて頂いております。今日も高校生の活動を詳しく聞くことが出来て大変勉強になりました。宝陵高校はボランティア部の伝統が長いので、学童保育支援など決まったパターンの活動が可能で、後輩は先輩からノウハウを受け継ぐので比較的やりやすい環境にはあります。何か新しいことを始めるにはエネルギーが入ります。ボランティア活動は自発的な活動ですから、どうしても中心になる人が必要であり、みんな同じようには出来なくて、積極性や意思の強い人が居ることが非常に大事なので、今ここに居る人たちがやってみたいと思っている人たちを誘って、何とかボランティアの輪を拡げていって、それが後輩に受け継がれて繋がっていくことが、たとえ規模が小さくても意味があることだと思います。今日のテーマは個人で出来るボランティアでしたが、逆にボラン・コラボ穂の国7の全員で一緒に出来ることがあると面白いのではないかと思いますので、そのようなことを考えたり後輩に伝えていって頂きたいと思いました。本日はありがとうございました。



会報担当者：太田稔会員、樺山修一会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。